

第2回宗像市行財政改革推進委員会議事録

日時	令和5年1月27日(金)10時00分～	会場	304会議室
委員	□奥 友希 ■斉藤 久美子 ■實原 隆志 ■下田 真也 ■高山 國敏 ■雪松 直子 ■米本 昌弘 (五十音順、敬称略)		
市	■長谷川経営企画部長 (事務局：行革アセットマネジメント推進室) ■中山 ■三淵		

1 開会あいさつ

2 報告事項

(1) 第4次宗像市行財政改革アクションプラン令和3年度実施結果報告書(案)について

【事務局】

■ 第4次宗像市行財政改革アクションプラン令和3年度実施結果報告書(案)について説明

以下、質疑応答等

【委員】

2ページの評価方法のところに、全30プランのうち、令和3年度に実施した28プランという表記があるが、残りの2プランの取り扱いがどうなっているのか。

【事務局】

全30プランにはそれぞれ取り組み期間を設定しており、令和3年度に取り組み期間となっていない2プランについては、今回の令和3年度実施結果報告書には掲載していない。この報告書を読んだ人が分かるように総括の部分に追記する。

【委員】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、評価が低いプランが存在することも仕方ないと感じている。全体的に高いレベルで改革に取り組んでいると読み取れる。「1-4-1業務の棚卸による事務の簡素化と集約化」等の最終目標が定量化された数値目標となっているが、3ページの評価結果一覧表にある令和3年度の評価についてはプロセス目標という記載になっている。評価の判断方法を確認したい。

【事務局】

最終目標は定量化された数値目標での評価になるが、1-4-1のプランを例に挙げると、令和3年度はその目標が数値としては0であり、数値目標での評価が難しいため、年次計画に合わせてどれくらいの達成を行っているかによる定性的な評価を行った。

【委員】

4ページ「1-1-2職員の能力向上に関する取り組み」について、能力の向上という判断は、能力の定義を定めて、能力の向上に取り組んでいるのか、それとも研修をやったということだけでひとつ評価の基準となっているのか、実際に現場ではどのような動きになっているか教えていただきたい。なかなか公務員だとスキルでの人事評価まで直結できていないと考えるが、人事考課の見直しという話も記載されているので、宗像市での研修の動きについて教えていただきたい。

【事務局】

ハラスメント研修やワークライフバランスに関する研修は今までも実施していたが、今は個々の業務に関する専門的な研修もオンラインを用いてかなり進めている状況である。最終的には業務の結果に表れ、人事考課にも反映できるようにとは考えている。これまでは研修を受けるために研修所に行ったり、外部講師を呼んだりしないと研修を受講できなかったが、オンラインでの対応が進むにつれ、個々の能力向上に向けた研修を行うことができている。ちょうど今が変革期であると感じている。

【委員】

14ページ「2-4-3企業や大学との連携による住民サービスの向上」下段にあるR4年度の取組の欄で、「市内大学及び市と大学連駅協定を締結した九州大学、九州産業大学、福岡女子大学、九州共立大学の計6大学」という表記があるが、この言葉だけでは市内に2つの大学があることが読み取れず、大学数にずれを感じる可能性が考えられるので、市内2大学という表記に修正したほうがいいのか。

【事務局】

分かりやすいように修正する。

【委員】

各プランの評価の方法は基本的に定量評価と定性評価のどちらかだと思うが、定量評価での評価のプランについても特記事項で定性的に評価できる内容を記載し、あわせて評価を行っていると考えていいか。

【事務局】

数値化できない要素についてもわかるように、取組内容や特記事項で計画に対する進捗等を記載し、数値に評価に合わせて取組み状況がわかるようにしている。

【委員】

12ページ「2-2-1補助金・負担金の適正化」のように、今回新型コロナウイルス感染症等の影響によって見直しを見送ったプランは、数値的に評価を行う定量評価だけであれば評価はDとなってしまふ。しかし、市民生活等への影響を考えて見直しを行っていないということは視点を変えれば市民のことを考えているという点もあるので、定性的な判断を踏まえ評価を上げるという考えもあっていいと感じているがいかがか。そのような点で書き方が工夫できないかと感じている。

また、CやDなどの評価が低くなったプランの担当課や担当者等に対し、低評価による負荷や負担等が出ていないかを教えていただきたい。心のケアに結びつくような体制を合わせてお願いしたい。

【事務局】

定量的な判断はしないといけないと考えているが、方針転換等を含めた理由等、評価に直接表せない部分は特記事項に記載するなどしてフォローはしている。方針転換等を受け、結果的に定量的な数字が結果として出ずに高い評価が出なかったプランもあるが、当初定めた評価方法に則り判断をしている。取組みが評価には表れないプランもあるが、行政だからこそあいまいにならない評価や判断をしなければならないと考えている。

組織的に判断し、評価を行っており、この結果を受けて、担当者個人に負荷がかかっているとは考えていないが、通常の業務での心のケア等に対し、組織的に職員をフォローする体制整備は今も進めている。

【委員】

第4次宗像市行革アクションプランを策定したときに議論した評価方法であり、現段階ではこの評価

方法によって評価を行うことになっている。新型コロナウイルス感染症によって状況が変わったとはいえ、事務局主導でルールを変更することには差しさわりがあると考え。このルール等を変更すべきかについては、今後は委員会で検討すべき事項になるかもしれない。機会があれば今後ご意見をいただきたい。

【委員】

全体をとおして取組みに対しての努力が読み取れる。特に ICT 化について精力的に進めているように感じる。また、令和3年度は税外収入が多く、そこが印象的である。

19ページ「3-4-2 公有財産の活用及び処分の促進」について、未利用地の市有地を売却したとあるが、この土地はどれくらいの規模の土地であり、何のために市有地として所持していたのか。また、その土地は現在どのように利用されているのかも教えていただきたい。あわせて、未利用の市有地が多くあるようだが、なぜこのように数多く存在しているのかも教えていただきたい。

【事務局】

令和3年度に売却した市有地については、赤間小学校に隣接する裏山である。その山は土砂災害警戒区域に指定されており、長年の課題となっていた場所である。その折、市に対して民間の事業者から団地開発の提案があり、造成にあわせて売却を行ったというものである。広さとしては1,800㎡ほどであった。

また、利活用できていない土地の活用は、以前から市としての課題の一つである。活用されていない土地については、市街化調整区域に存在していることであったり、工事に膨大な費用が掛かったりすることが理由としてあげられる。そのような場所が市内に数カ所存在している。ほかに、道路用地として確保した土地での残地も市の土地として残る。行政目的のない普通財産については、定期的に売却を行いながら対応している状況である。利活用できるものはどんどん利活用していくという方針である。

【委員】

13ページ「2-3-1 電子申請の促進」について、電子申請システムが現在トライアル運用のため経費はなしと記載があるが、いつまで経費がかからないのか。この経費が発生すると、効果額にも影響があると考えられる。

【事務局】

確認してお伝えする。

（回答）

トライアル運用は令和3年度のみで、令和4年度からは経費が必要になり、次回の報告からは効果額に影響が出る可能性がある。

【委員】

16ページの「3-1-1 クラウドファンディングによる財源の確保」について、どれくらいの企業からの寄附があるのかを教えていただきたい。

【事務局】

企業版ふるさと納税に関しては、14社からの寄附をいただいている。大口の寄附が一件あるが、令和3年からプッシュ型の寄附募集を行い、例年に比べ寄附企業が増えているという状況である。

【委員】

ICT化の推進は、市民サービスの向上のために進めていると思うが、市民、特に高齢者に負担がかかりすぎないように気を付けていただきたい。ICT化の浸透というのは時間のかかるものでもあるので、

ICTのお手伝いのできる窓口の設置であったり、地域でのスマホの説明会等であったりを継続してお願いしたい。大学や地域の子どもたちとの連携、また防災の取組みとICTの取組みをあわせることも考えられる。福祉と防災を一緒に考えることにもつながるので、長期的な目線で考えていただきたい。

【事務局】

デジタル化に向けては、デバイド対策も考えないといけない。ICT化は一気に進めるだけでなく、アナログとの併用も考えていく必要がある。年代に応じた対応を行い、少しでもデジタルでの申請が増えれば職員の作業についても軽減できる可能性がある。今はまだスマートフォンに慣れていない高齢者が多いかもしれないが、これから年齢が上がるにつれ、スマートフォンに慣れた人が高齢者に仲間入りする。一時の取組みで終わらせるのではなく、長期の取組みとして進めていく必要がある。

3 その他

議題は特になし。

【事務局】

■令和5年度からの組織の変更について説明

【事前配布資料】

- ・(資料1) 第4次宗像市行財政改革アクションプラン令和3年度実施結果報告【概要】
- ・(資料2) 第4次宗像市行財政改革アクションプラン令和3年度実施結果報告書(案)
- ・(参考資料1) 第4次宗像市行財政改革アクションプラン